

グループスーパービジョン事例検討用事例

提出者：B型事業所のサービス管理責任者

【今回検討したいこと】

ここのところ問題行動が増えている松戸さんの支援は、このままで良いか疑問に感じている。本人の事業所での活動内容がっている部分もあり、あっていない部分もあるのではないかと担当職員も感じているようである。どのような工夫があれば良いか検討したい。(サビ管経験年数1年目)

【事例概要（年代、性別、診断名、現病歴、生育歴・家族歴）】

- ・氏名：松戸さん
- ・年齢：28歳
- ・障害名：知的障害、自閉症 療育手帳 B-1
- ・家族：父(61歳)母(58歳)兄(別世帯)両親との三人暮らし
- ・ADL：自立
- ・コミュニケーション：オウム返しが多く、あまり会話は成り立たない

【サービス導入の経緯】

特別支援学校卒業と同時に当事業所へ通所をしている(10年間)。作業内容はタオルたたみや牛乳パックを張り合わせた椅子の作成、紙すきによるハガキの作成などを行っている。
毎日休むことなく通っており、健康で動きも快活である。

【本人の支援ニーズと本サービスにおける支援目標】

作業は好きなようで休むことなく通っている。平日は事業所へ通い、週末は家族と出かけ、安定した生活となっている。将来はグループホームなどで一人暮らしをして欲しいとの両親の希望はあるものの、本人はまだその段階ではないと考えている。自分の持ち物を他者が勝手に触ったり、決められたカリキュラムの時間がずれると不機嫌になったり、他の利用者へ暴力を振るうことなどがあるため注意している。
工賃が高い他事業所へのステップアップを図りたいが、問題行動もありうまく進んでいない。

【サービス導入から現在までの支援内容とその結果およびアセスメント】

約10年間毎日通っているがここのところ粗暴で突飛な行動が増えて来ており原因もはっきりしない。お昼の食事中にプラスチック製の弁道箱を床に叩きつけ踏み潰してしまう。作業所の送迎車で走行中に内側から後部座席のドアを開けて、降りようとしてしまうなどの突発的な行動が頻回になりつつある。本人からはハッキリしたことが聞けず、両親から自宅での様子も聞いてみたが、行動にあまり変化はないとのこと。作業活動も淡々とこなし、創作活動の時間には、独特な色使いで綺麗な塗り絵を作成したり1000円程度の戦闘機のプラモデルであれば説明書を読みながら、一人で作成することができるぐらい能力は高い。

	性格・人柄／個人的特性	才能・素質
スト レン グ ス	几帳面で自分だけの時間へのこだわりがある体力がある儉約家。	自転車が乗れる。
	環境のストレングス	興味・関心／向上心
	住宅街の中に自宅があり、買い物や駅なども近く生活には便利な環境に住んでいる。	買い物が好きだが、高額なものは買わない。

●事業所環境

種別：就労継続支援B型事業所

定員：20名

利用者数：19名(知的障害者14名・身体障害者5名)

プログラム：送迎 牛乳パック椅子作成 箱折 野菜づくり 紙すき タオルたたみ 創作活動

●地域の状況

市の人口：8万人

市内事業所数(B型事業所：7箇所 A型事業所数：1箇所 就労移行事業所：1箇所)

生活介護施設数：2箇所)

